

平成19年度

市政世論調査結果報告書

概要版

はじめに

本市の市政世論調査は昭和45年に実施して以来、今回で38回目を迎えます。

市政世論調査は市民各層の行政ニーズを的確にとらえ、行政施策に反映させていくために継続して実施しているものです。

今回は「暮らしや居住意向について」「市民参加について」「男女の役割や共同参画について」「人権全般に関する意識について」「自治会への加入について」「身近でできる地球温暖化対策について」「農産物等に関することについて」「消防団について」「市の施策について」の各テーマにおいて、市民意識の把握に努めました。

今回の調査で、すべてのニーズや問題点が解明されたわけではありませんが、調査の結果を今後の市政運営の参考資料として活用しながら、市民の期待に応えられるまちづくりや、行政サービスを推進して参りたいと考えております。

ご多忙にもかかわらず、市政世論調査にご協力をいただきました市民の皆様にご心より御礼申し上げます。

平成19年12月

越谷市長 板川 文夫

調査の概要

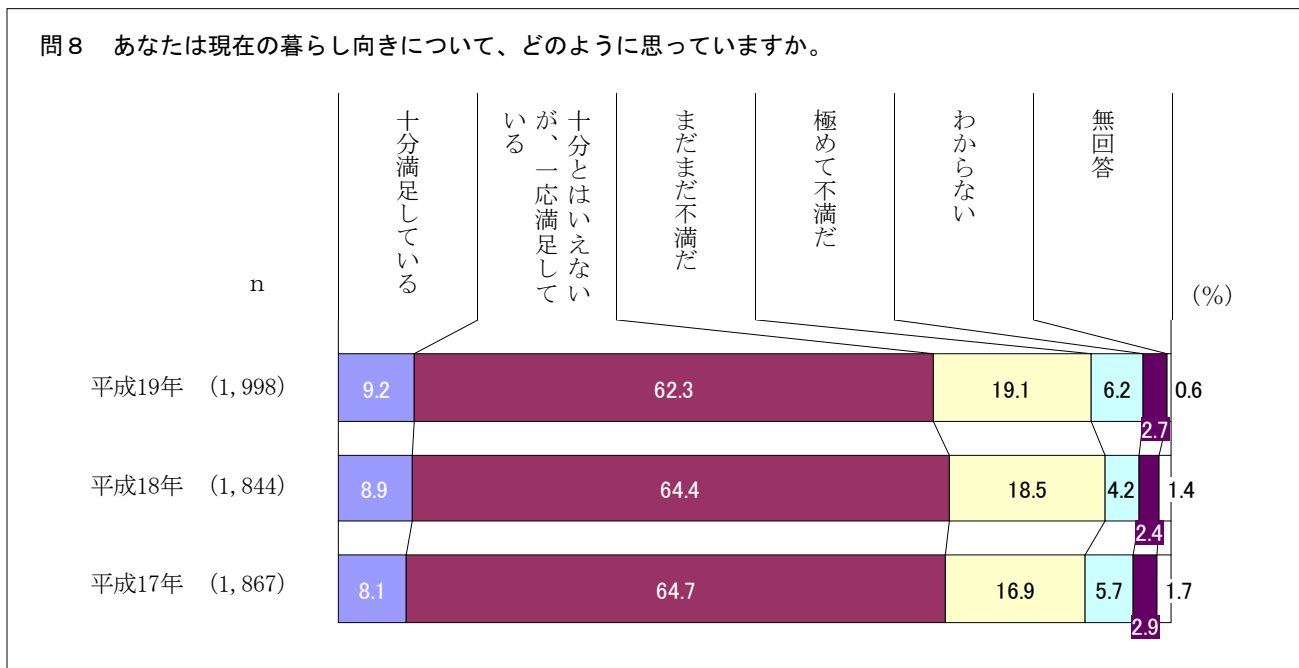
- | | |
|----------|--|
| (1) 調査地域 | 越谷市内全域 |
| (2) 調査対象 | 市内在住の20歳以上の男女5,000人 |
| (3) 標本抽出 | 住民基本台帳より無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送法（郵送配布－郵送回収・はがき督促を1回） |
| (5) 調査時期 | 平成19年6月20日～7月11日 |
| (6) 回収結果 | 回収票数 2,008 (40.16%)
有効票数 1,998 (39.96%) |
- (7) 本概要版の見方について
- 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
 - 基数となるべき実数（ n ）は、設問に対する回答者数である。
 - 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
 - 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

1 暮らしや居留意向について

1-1 現在の暮らし向き

◎ 満足している人が2年ぶりに減少

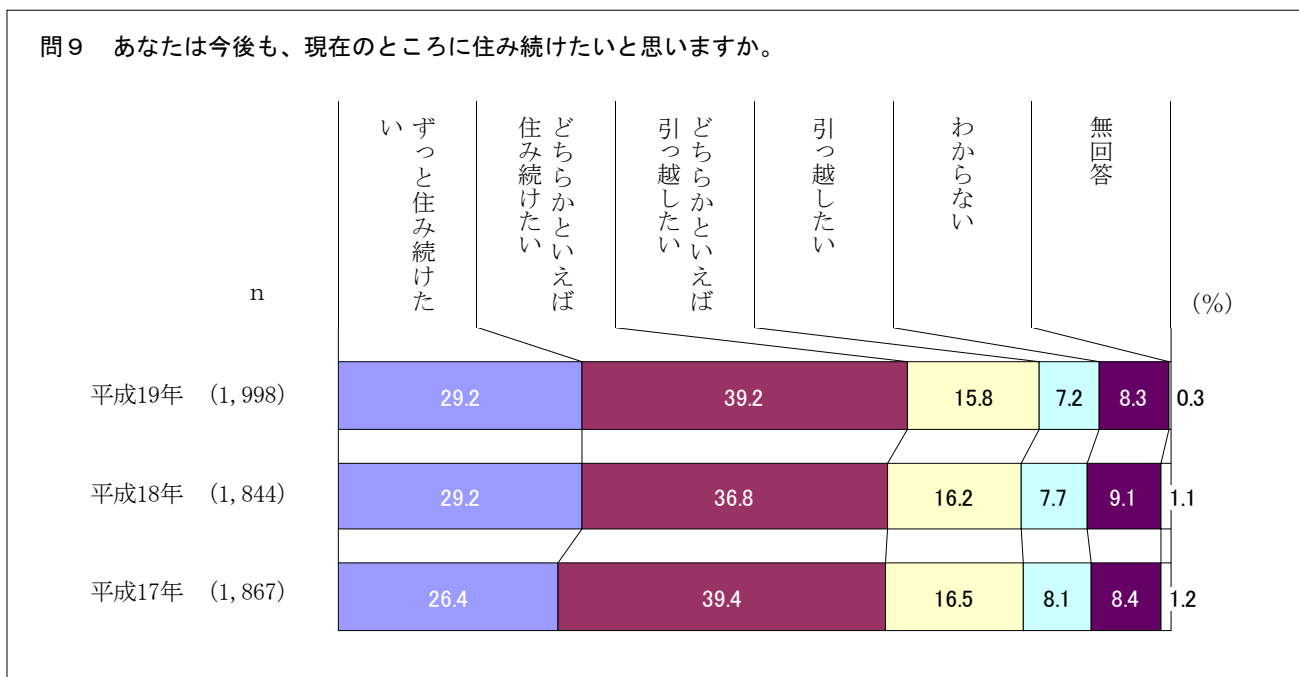
現在の暮らし向きについて、満足している人の割合は、平成17年度（72.8%）、平成18年度（73.3%）と比較して、今回調査では71.5%と、2年ぶりに減少に転じています。



1-2 居留意向

◎ 住み続けたい人が少しずつ増加

居留意向について過去の調査と比較すると、住み続けたい人の割合は、今回調査（68.4%）で最も多くなっています。



2 市民参加について

2-1 協働のまちづくりへの参加機会の有無

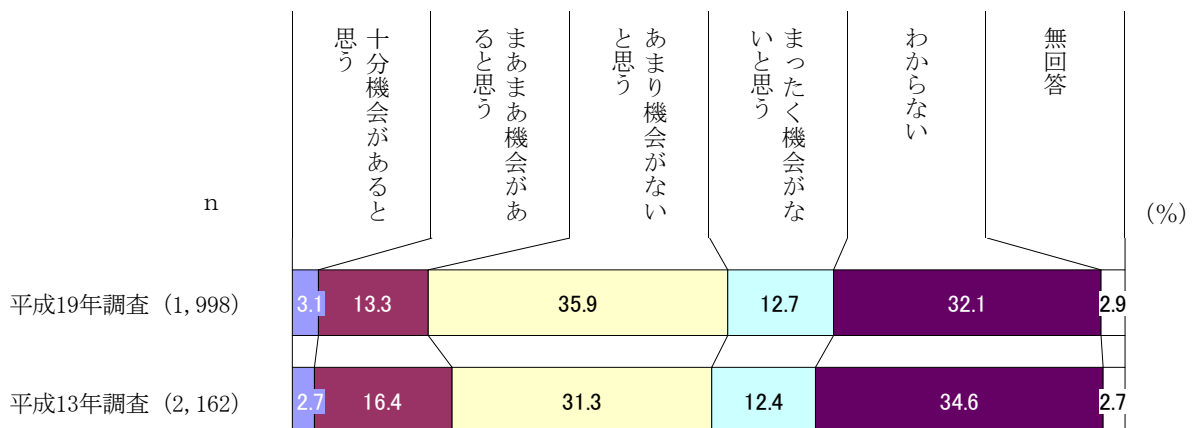
◎ 機会があると思う人は1割台半ば、機会がないと思う人が5割近い

協働のまちづくりへの機会があると思う人は16.4%で、機会がないと思う人が48.6%となっています。

問10 市民と行政が「協働※1」してまちづくり※2を推進するためには、市政に参加できる機会が必要不可欠ですが、越谷市は市民に対してこのような機会を設けていると思いますか。

※1 協働=目標を達成するために、市民と行政がお互いに対等な立場で役割や責任を明確にして協力しあうこと

※2 まちづくり=市の計画を策定したり、事業を立案するなどして、その管理運営を行うこと

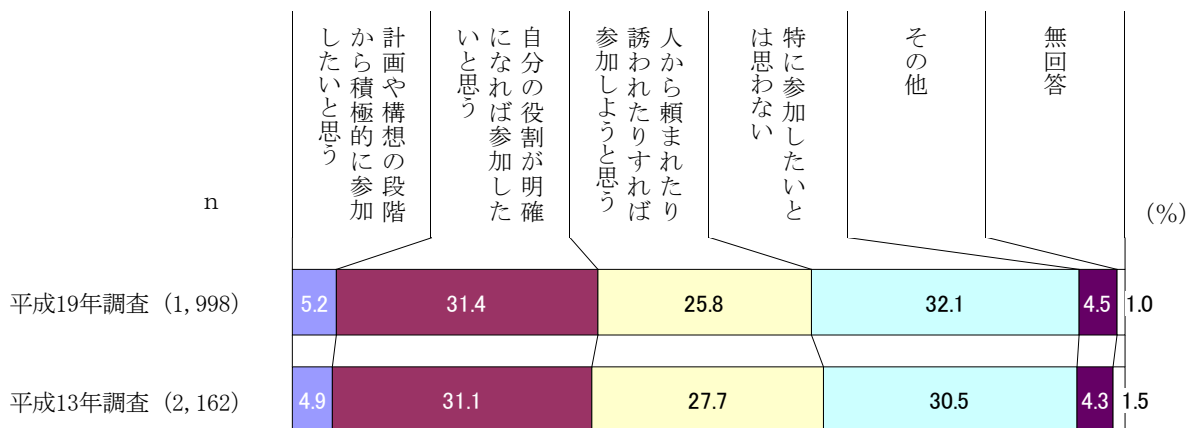


2-2 市のまちづくりへの参加意向

◎ 「特に参加したいとは思わない」「自分の役割が明確になれば参加したいと思う」が3割台

市のまちづくりへの参加意向については、「特に参加したいとは思わない」が32.1%、「自分の役割が明確になれば参加したいと思う」が31.4%と多くなっています。

問11 あなたは、市のまちづくりに参加したいと思いますか。

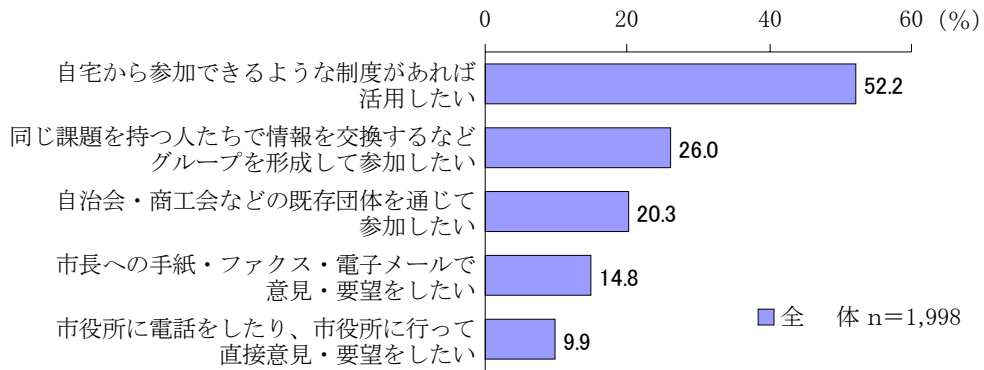


2-3 市政への参加方法

◎ 自宅から参加したい人が半数

「自宅から参加できるような制度があれば活用したい」が52.2%で最も多く、「グループを形成して参加したい」が26.0%、「自治会・商工会などを通じて参加したい」が20.3%と続いています。

問12 あなたは、どのようにして市民参加をしたいですか。（上位5項目まで掲載）

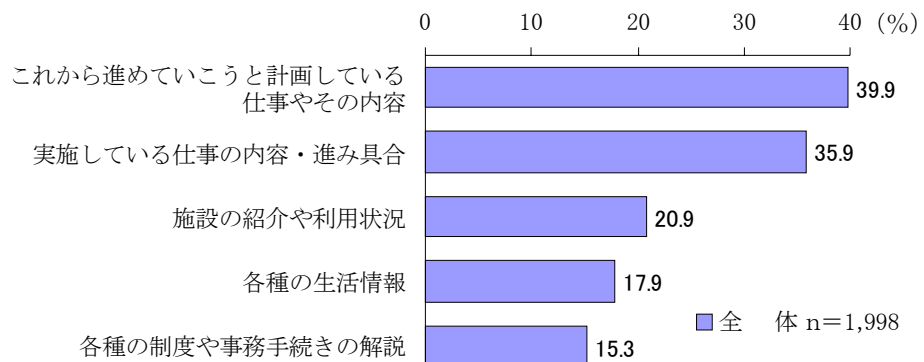


2-4 市についての情報・知識で知りたいこと

◎ 「計画している仕事やその内容」が4割弱

「計画している仕事やその内容」が39.9%で最も多く、次いで「実施している仕事の内容・進み具合」が35.9%となっています。

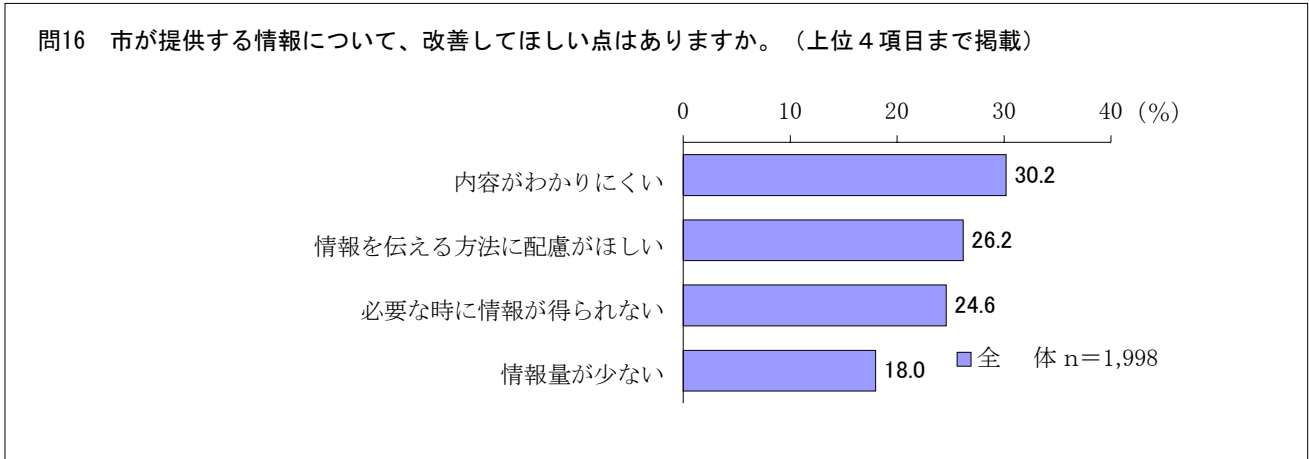
問14 市政に参加するためには、あらかじめ市についての情報・知識が必要と思われますが、あなたはどのようなことが知りたいですか。（上位5項目まで掲載）



2-5 市の提供する情報についての改善点

◎ 「内容がわかりにくい」が約3割

「内容がわかりにくい」が30.2%で最も多く、「情報を伝える方法に配慮がほしい」が26.2%、「必要な時に情報が得られない」が24.6%と続いています。

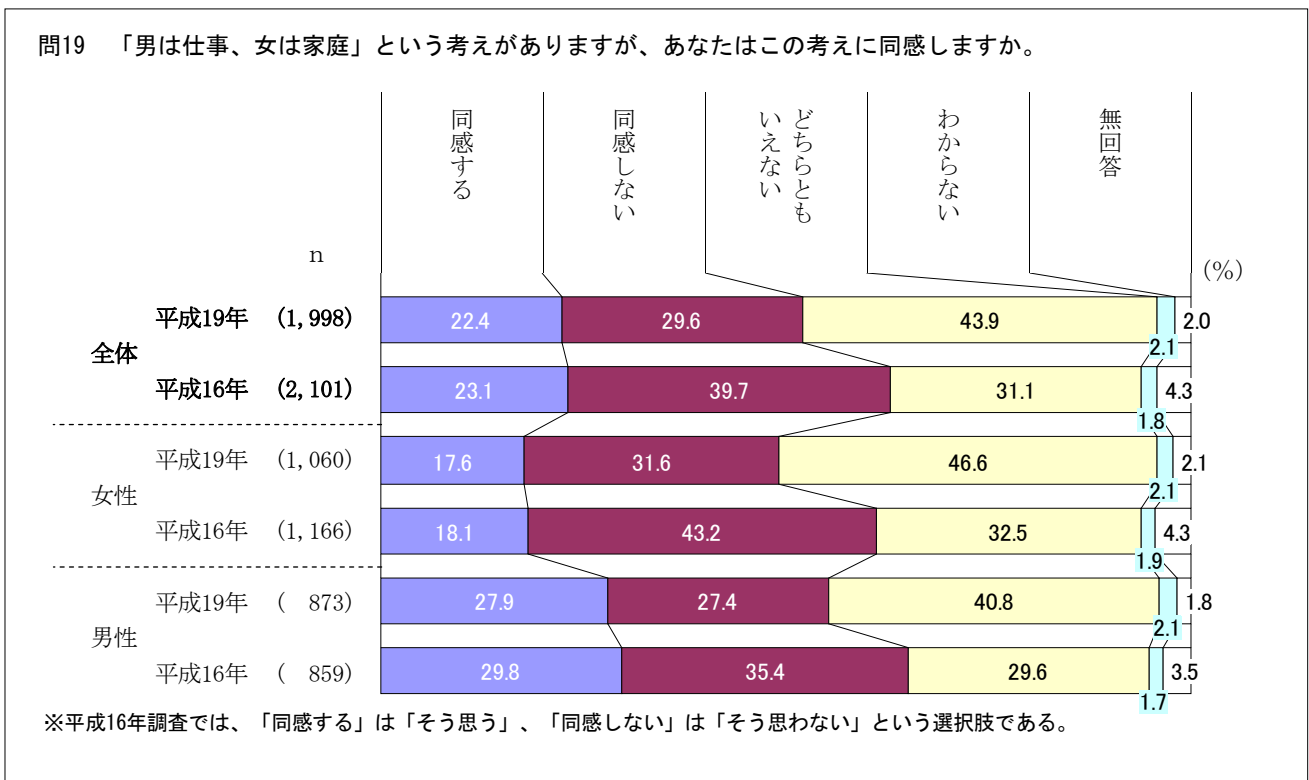


3 男女の役割や共同参画について

3-1 「男は仕事、女は家庭」という考え方

◎ 同感しない人が同感する人を上回る

「男は仕事、女は家庭」という考え方については、同感しない人が29.6%で、同感する人の22.4%を上回っています。また、同感しない人は女性で31.6%となっており、男性の27.4%よりも多くなっています。

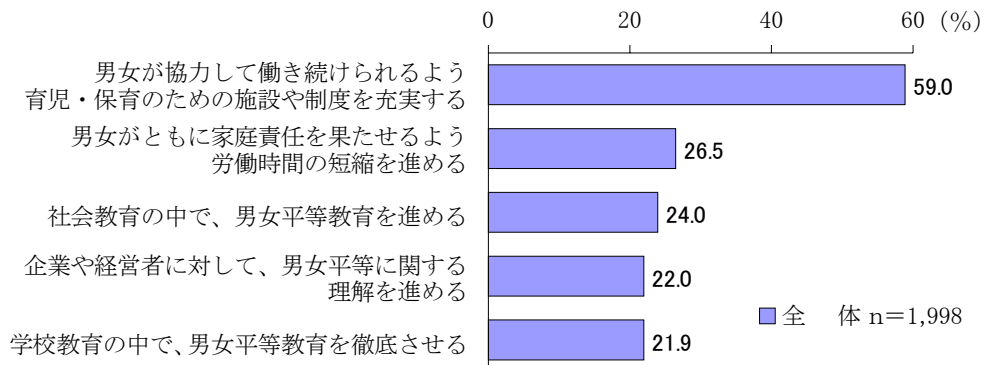


3-2 男女共同参画のために力を入れるべきこと

◎ 「育児・保育のための施設や制度の充実」が6割弱

「育児・保育のための施設や制度の充実」が59.0%で最も多く、「労働時間の短縮」が26.5%、「男女平等教育」が24.0%と続いています。

問22 男性と女性が対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野に参画していくためには、今後国や県、市はどのようなことに力を入れることがよいと思いますか。（上位5項目まで掲載）



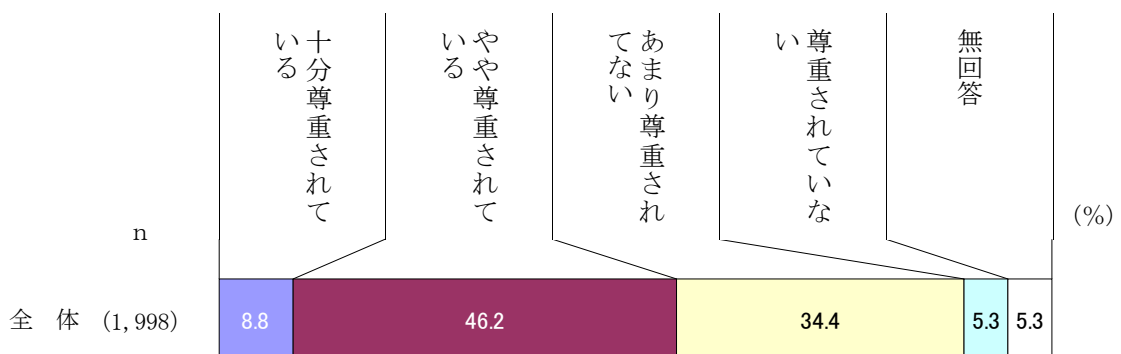
4 人権全般に関する意識について

4-1 基本的人権の尊重の状況

◎ 尊重されていると感じる人が5割台半ば

尊重されていると感じる人の割合が55.0%で、尊重されていないと感じる人の39.7%を上回っています。

問23 あなたは、今の日本社会においてどのくらい基本的人権が尊重されていると思いますか。

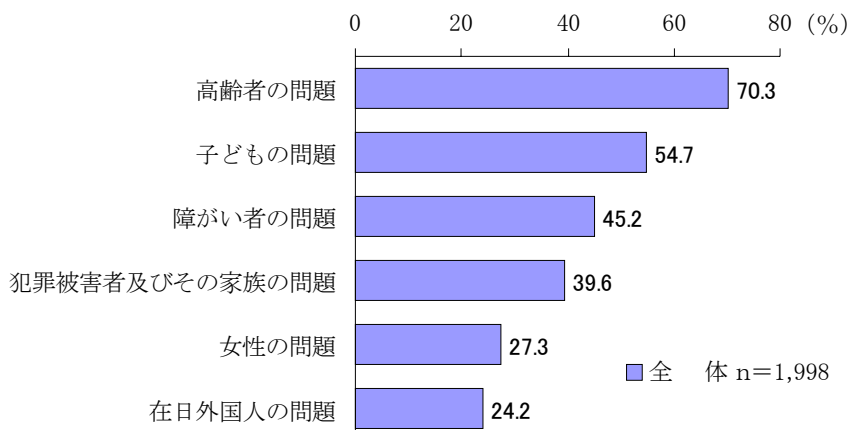


4-2 関心のある人権問題

◎ 「高齢者の問題」が約7割

「高齢者の問題」が70.3%で最も多く、次いで「子どもの問題」が54.7%、「障がい者の問題」が45.2%、「犯罪被害者及びその家族の問題」が39.6%と続いています。

問25 今の日本の社会に様々な人権問題がありますが、あなたに関心のあるものはどれですか。（上位6項目まで掲載）

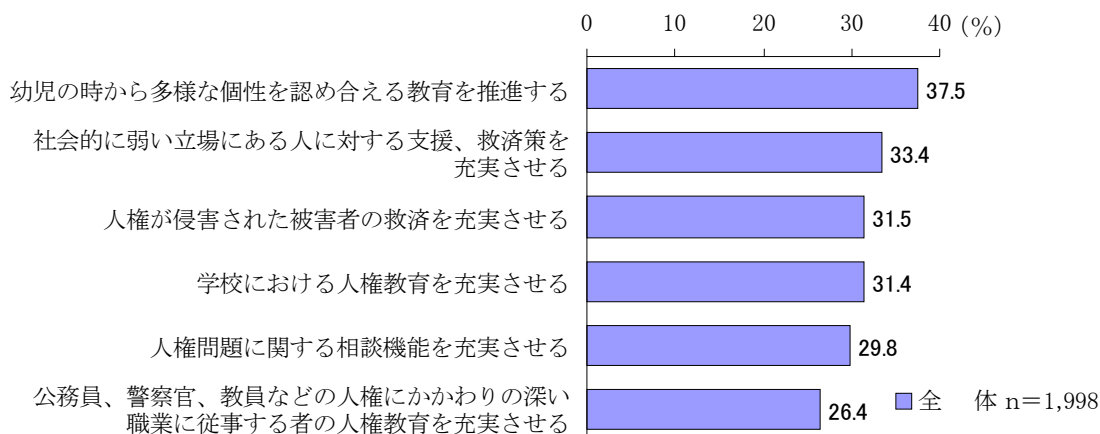


4-3 人権が尊重される社会を実現するために重要なこと

◎ 「個性を認め合える教育」が3割台半ばを超える

「個性を認め合える教育」が37.5%で最も多く、以下「社会的弱者への支援、救済策」が33.4%、「人権侵害の被害者救済」が31.5%、「学校における人権教育」が31.4%と続いています。

問29 あなたは、人権が尊重される社会を実現するためには、特にどのようなことに取り組んでいくことが重要だと思いますか。（上位6項目まで掲載）

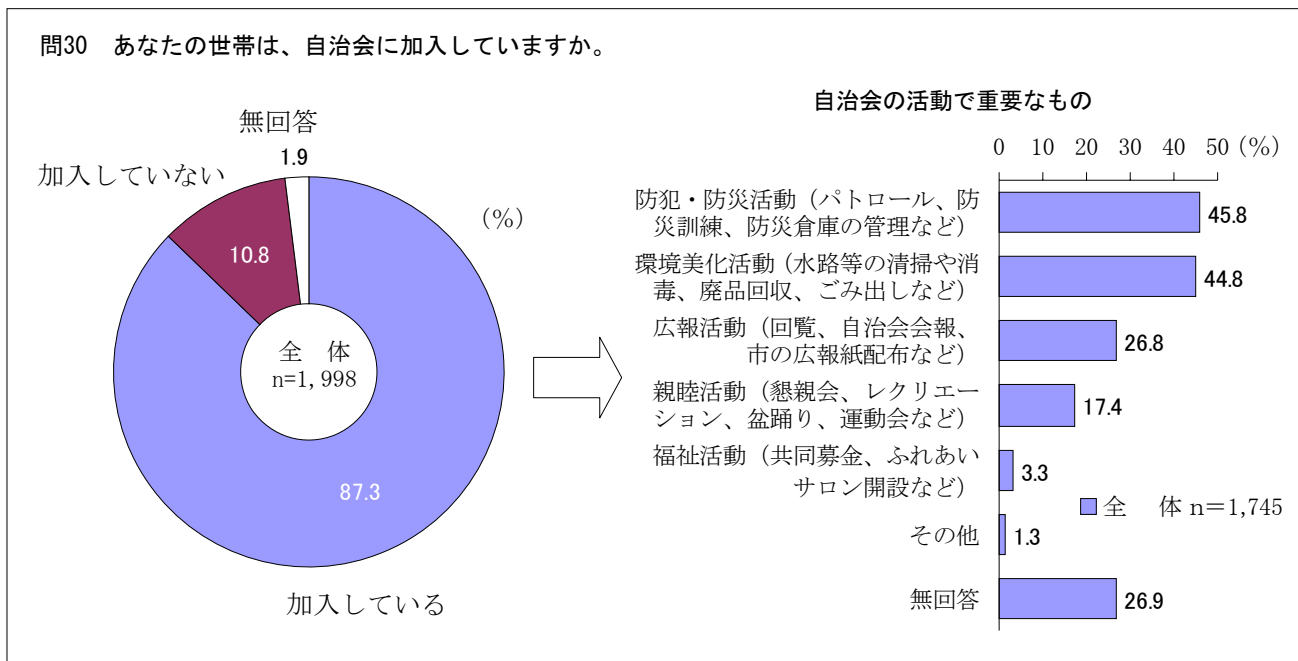


5 自治会への加入について

5-1 自治会への加入状況

◎ 加入している人が87.3%

自治会に加入している人が87.3%となっています。また、自治会の活動で重要なものは、「防犯・防災活動」が45.8%、「環境美化活動」が44.8%と多くなっています。

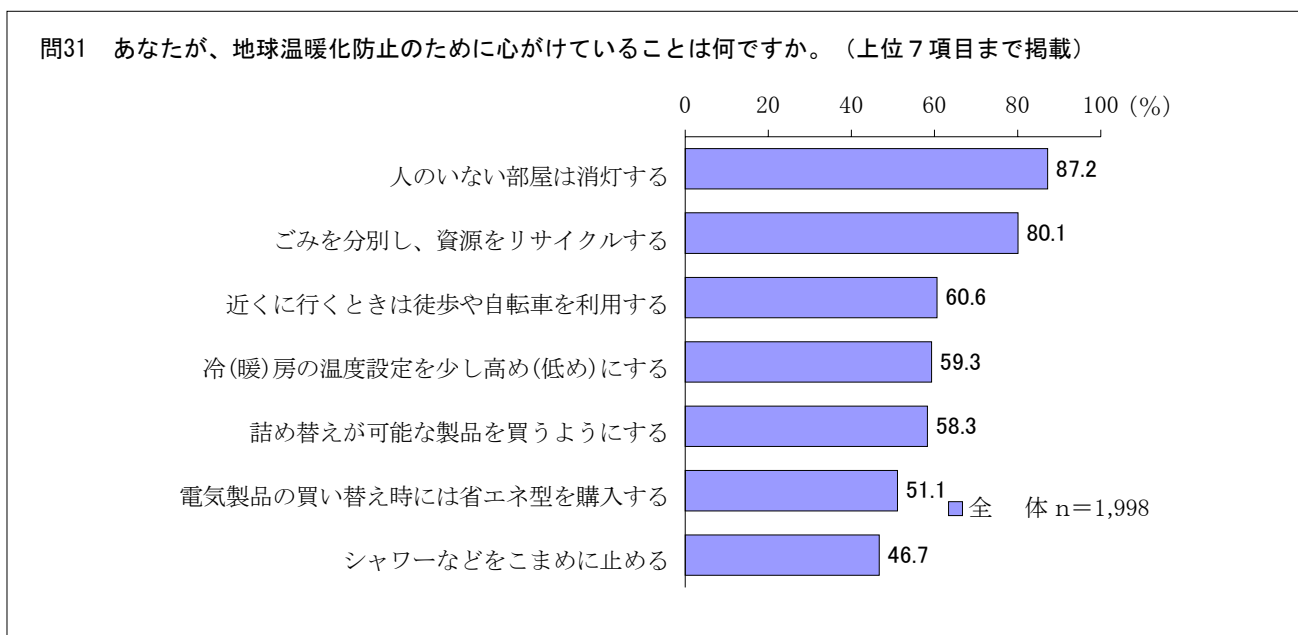


6 身近でできる地球温暖化対策について

6-1 地球温暖化防止のために心がけていること

◎ 「消灯」と「リサイクル」が8割台

「消灯」が87.2%で最も多く、次いで「リサイクル」が80.1%となっています。

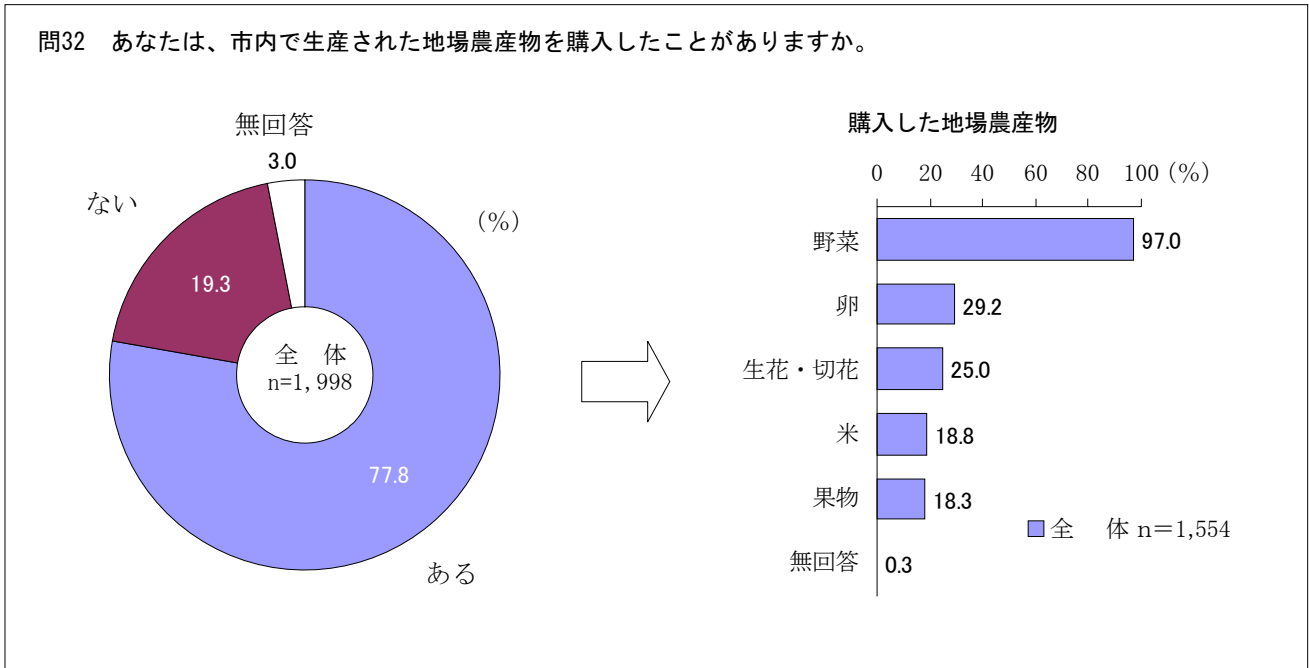


7 農産物等に関することについて

7-1 地場農産物の購入経験

◎ 購入経験者が77.8%

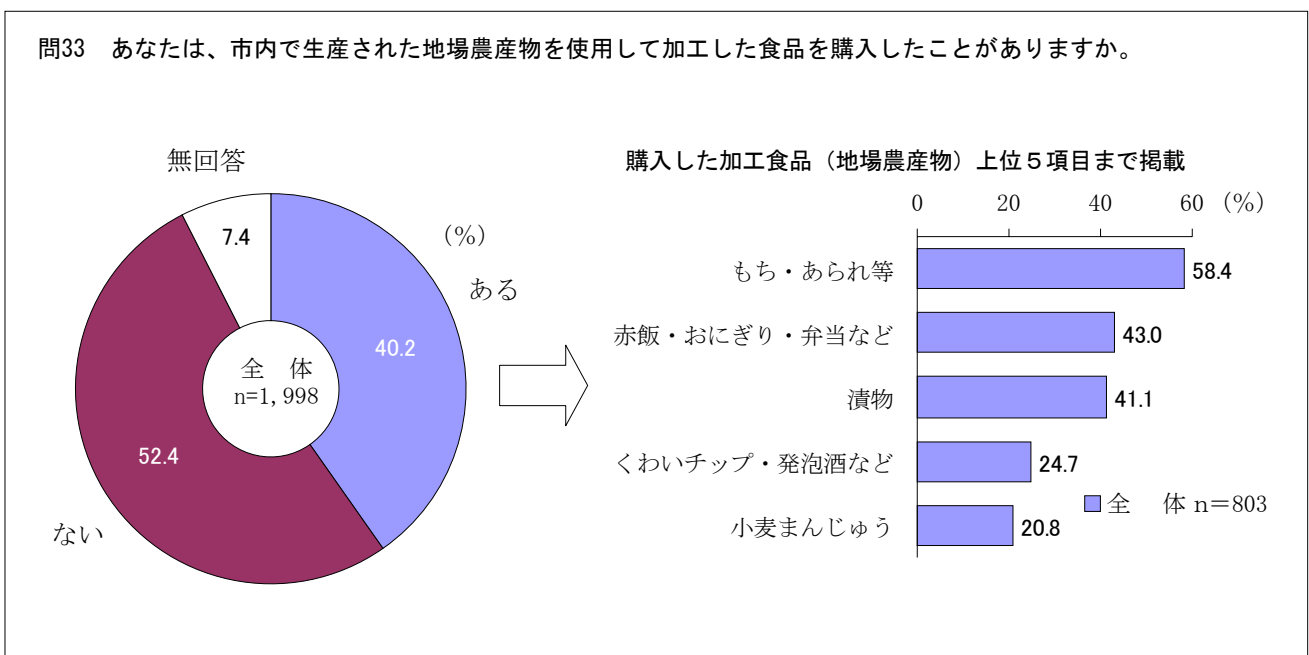
購入したことがある人が77.8%となっています。購入した地場農産物は、野菜が97.0%と最も多く、卵が29.2%、生花・切花が25.0%と続いています。



7-2 加工食品（地場農産物）の購入経験

◎ 購入未経験者が5割強で、経験者は約4割

購入したことがない人が52.4%で、購入したことがある人の40.2%を上回っています。購入した加工食品は、もち・あられ等が58.4%と最も多く、赤飯・おにぎり・弁当などが43.0%、漬物が41.1%と続いています。

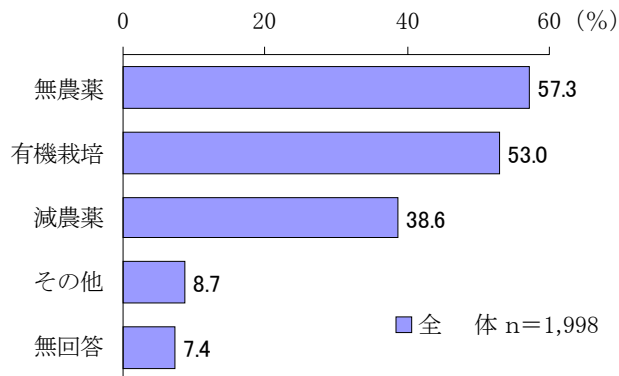


7-3 農産物の安全性について購入時に意識すること

◎ 「無農薬」「有機栽培」が5割台

農産物の安全性について購入時に意識することは、「無農薬」が57.3%で最も多く、次いで「有機栽培」が53.0%、「減農薬」が38.6%となっています。

問35 あなたは、農産物の安全性についてどのようなことを意識して購入しますか。



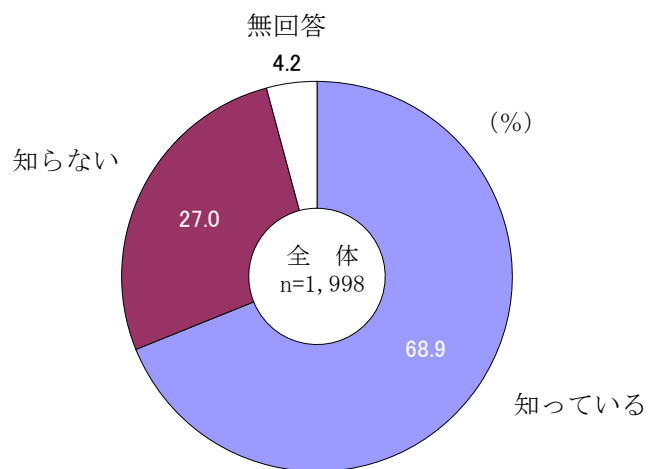
8 消防団について

8-1 消防団の認知

◎ 認知度は7割弱

知っている人が68.9%で、知らない人の27.0%を大きく上回っています。

問36 あなたは、消防団の存在を知っていますか。



9 越谷市の施策について

9-1 市の施策について よくなってきたと感じるもの

◎ 「駅周辺の整備」「バス路線等公共交通網の充実」が3割台

「駅周辺の整備」が36.0%で昨年と同じく最も多く、また、「バス路線等公共交通網の充実」が2年連続で増加して32.0%となっています。大相模地区で「ごみ・し尿の処理対策」、北越谷地区で「下水道（公共下水道や排水路）の整備」が多く、「バス路線等公共交通網の充実」をそれぞれ上回っています。

問38 市では様々な施策を進めておりますが、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」また、今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」を、次の中からそれぞれ5つまで選び、下の口内に番号をご記入ください。

(%)

	n	1位	2位	3位	4位	5位	
全体	1,998	駅周辺の整備 36.0	バス路線等公共交通網の充実 32.0	ごみ・し尿の処理対策 20.5	下水道(公共下水道や排水路)の整備 19.4	公園や緑地の整備 15.0	
居住地区別	桜井地区	231	バス路線等公共交通網の充実 39.4	駅周辺の整備 30.7	ごみ・し尿の処理対策 26.0	下水道(公共下水道や排水路)の整備 22.5	防犯対策/交通安全対策など 13.4
	新方地区	104	駅周辺の整備/ バス路線等公共交通網の充実 31.7		下水道(公共下水道や排水路)の整備/ 生涯学習(公民館活動等)の充実 18.3	公園や緑地の整備/ 水害や地震などの災害対策など 17.3	
	増林地区	107	バス路線等公共交通網の充実 41.1	駅周辺の整備/生活道路や都市計画道路の整備/ ごみ・し尿の処理対策 20.6		生涯学習(公民館活動等)の充実 18.7	
	大袋地区	288	駅周辺の整備 33.0	バス路線等公共交通網の充実/ 下水道(公共下水道や排水路)の整備 21.5	ごみ・し尿の処理対策 19.8	防犯対策 17.7	
	荻島地区	74	駅周辺の整備 51.4	バス路線等公共交通網の充実 21.6	生涯学習(公民館活動等)の充実 20.3	ごみ・し尿の処理対策 17.6	公園や緑地の整備 16.2
	出羽地区	146	バス路線等公共交通網の充実 45.9	駅周辺の整備 34.2	下水道(公共下水道や排水路)の整備 27.4	ごみ・し尿の処理対策 21.9	防犯対策/土地区画整理事業などの市街地整備など 12.3
	蒲生地区	208	駅周辺の整備 35.1	バス路線等公共交通網の充実 24.5	ごみ・し尿の処理対策 22.6	下水道(公共下水道や排水路)の整備 20.2	生活道路や都市計画道路の整備 15.4
	川柳地区	45	バス路線等公共交通網の充実 42.2	駅周辺の整備 37.8	高齢者福祉の充実 15.6	生活習慣病などの保健衛生対策/ ごみ・し尿の処理対策 13.3	
	大相模地区	95	駅周辺の整備 29.5	ごみ・し尿の処理対策 27.4	バス路線等公共交通網の充実 25.3	交通安全対策 16.8	公園や緑地の整備/ 下水道(公共下水道や排水路)の整備など 13.7
	大沢地区	165	駅周辺の整備 59.4	バス路線等公共交通網の充実 27.9	ごみ・し尿の処理対策 27.3	下水道(公共下水道や排水路)の整備 23.6	公園や緑地の整備 18.2
	北越谷地区	86	駅周辺の整備 41.9	下水道(公共下水道や排水路)の整備 20.9	バス路線等公共交通網の充実 17.4	公園や緑地の整備 16.3	生活道路や都市計画道路の整備 15.1
	越ヶ谷地区	244	バス路線等公共交通網の充実 34.4	駅周辺の整備 31.6	ごみ・し尿の処理対策 17.6	下水道(公共下水道や排水路)の整備 16.0	公園や緑地の整備 14.3
南越谷地区	180	バス路線等公共交通網の充実 44.4	駅周辺の整備 41.1	公園や緑地の整備 21.1	下水道(公共下水道や排水路)の整備 18.9	土地区画整理事業などの市街地整備 16.7	

9-2 市の施策について 特に力を入れるべきだと思われるもの

◎ 「防犯対策」「高齢者福祉の充実」が3割台

「防犯対策」が37.7%で、昨年と同じく最も多く、次いで「高齢者福祉の充実」が33.7%です。増林地区で「青少年の健全育成」、川柳地区で「自然保護や河川の汚濁防止などの環境保全対策」、大沢地区で「地域医療や救急医療体制の整備」が多く、「高齢者福祉の充実」をそれぞれ上回っています。

問38 市では様々な施策を進めておりますが、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」また、今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」を、次の中からそれぞれ5つまで選び、下の口内に番号をご記入ください。

(%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1,998	防犯対策 37.7	高齢者福祉の充実 33.7	地域医療や救急医療体制の整備 24.3	青少年の健全育成 24.2	介護保険の充実 22.8
居住地区別	桜井地区	231	防犯対策 37.2	高齢者福祉の充実 36.4	青少年の健全育成 24.7	地域医療や救急医療体制の整備 23.4	介護保険の充実／水害や地震などの災害対策 22.9
	新方地区	104	高齢者福祉の充実 36.5	防犯対策 34.6	地域医療や救急医療体制の整備 26.0	青少年の健全育成 25.0	バス路線等公共交通網の充実 23.1
	増林地区	107	防犯対策 42.1	青少年の健全育成 31.8	高齢者福祉の充実 29.9	地域医療や救急医療体制の整備／水害や地震などの災害対策 26.2	
	大袋地区	288	高齢者福祉の充実 34.0	防犯対策 33.0	介護保険の充実 26.0	地域医療や救急医療体制の整備 23.6	青少年の健全育成 20.8
	荻島地区	74	高齢者福祉の充実 37.8	防犯対策 36.5	地域医療や救急医療体制の整備／自然保護や河川の汚濁防止などの環境保全対策 31.1		水害や地震などの災害対策 21.6
	出羽地区	146	防犯対策 39.0	高齢者福祉の充実 30.1	青少年の健全育成 28.8	介護保険の充実 24.7	水害や地震などの災害対策 24.0
	蒲生地区	208	高齢者福祉の充実 39.4	防犯対策 32.2	介護保険の充実 27.9	地域医療や救急医療体制の整備 23.6	水害や地震などの災害対策 22.1
	川柳地区	45	防犯対策 40.0	自然保護や河川の汚濁防止などの環境保全対策 26.7	青少年の健全育成／高齢者福祉の充実 24.4		交通安全対策／介護保険の充実／下水道（公共下水道や排水路）の整備 20.0
	大相模地区	95	防犯対策 36.8	高齢者福祉の充実 33.7	地域医療や救急医療体制の整備 30.5	介護保険の充実／水害や地震などの災害対策 25.3	
	大沢地区	165	防犯対策 40.0	地域医療や救急医療体制の整備 34.5	高齢者福祉の充実 32.1	交通安全対策 23.6	青少年の健全育成／水害や地震などの災害対策 22.4
	北越谷地区	86	高齢者福祉の充実 32.6	防犯対策 25.6	小中学校の教育環境（教育内容や教育施設）の充実 24.4	青少年の健全育成／水害や地震などの災害対策 23.3	
	越ヶ谷地区	244	防犯対策 40.2	高齢者福祉の充実 33.2	青少年の健全育成 22.5	地域医療や救急医療体制の整備 21.7	交通安全対策 21.3
南越谷地区	180	防犯対策 51.7	高齢者福祉の充実 33.9	青少年の健全育成 29.4	交通安全対策 23.3	地域医療や救急医療体制の整備 20.6	

平成19年度
市政世論調査結果報告書
概要版

発行日 平成19年12月
発行 越谷市 秘書室 広報広聴課
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
TEL 048-963-9117 (直通)